

医療法人社団博友会 広報誌

ご自由にお持ち帰りください

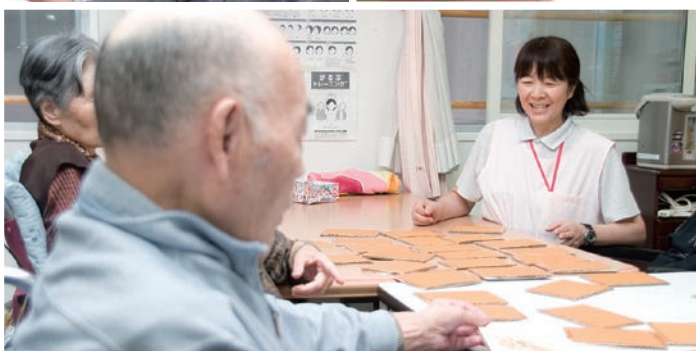
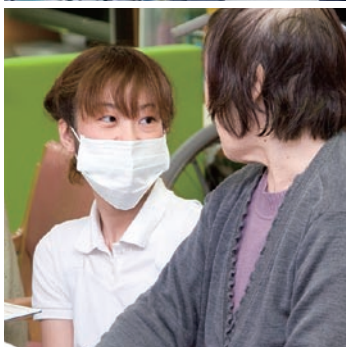
博友会 だより

Hakuyukai - Dayori

医療・看護・介護を通して
地域に貢献いたします



冬毛のエゾオコジョ



総合診療医が 高齢者の心身を 総合的に診断・治療

医療法人社団博友会 平岸病院 内科
小川 幹雄 医師

医療法人社団博友会は5つの施設で社会貢献しています



平岸病院

精神科・神経科・内科
神経内科・歯科・訪問看護
赤平市平岸新光町2丁目1番地
TEL: 0125-38-8331



北の峰病院

精神科・神経科
富良野市中御科2062番地
TEL: 0167-22-2011



介護老人保健施設博寿苑

入所・短期入所
通所リハビリテーション
赤平市平岸新光町2丁目4番地
TEL: 0125-37-2001



平岸クリニック

精神科・神経科・心療内科・内科
リハビリテーション科・デイケア・ナイトケア
赤平市平岸新光町1丁目1番地
TEL: 0125-38-8393



共同生活援助事業所グループホーム博友荘

入居による生活援助
赤平市平岸新光町4丁目34番地
TEL: 0125-37-2077

総合診療医が 高齢者の心身を 総合的に診断・治療



高齢者の疾患は突発性疾患から慢性疾患まで幅広いため、総合的な診断・治療が必要です。当院では、医師と看護師、介護士、検査技師、理学・作業療法士、ケースワーカーなどが協力し、豊富な経験を生かしながら、高齢者に必要な精神的・身体的な苦痛に対応する医療を提供しています。



医療法人社団博友会
平岸病院 内科

小川 幹雄 医師

- 昭和 9 年 弟子屈町生まれ
- 昭和 35 年 札幌医科大学卒業
- 昭和 36 年 同上衛生学教室助手
- 昭和 41 年 神奈川県衛生研究所ウイルス科長
- 昭和 49 年 千葉県鴨川市立国保病院
- 昭和 58 年 幌加内町国保病院
- 平成 10 年 上土幌町十勝患受会病院
- 平成 14 年 平岸病院

総合診療医が各科を超えてケアします

外科領域

じょくそう 褥瘡

と、その苦痛は尋常ではありません。褥瘡は予防が大切で、もしてきてしまつたら、できるだけ早く直さなければいけません。

体力が衰え長いベッド生活が続くと、皮膚が壊死する「褥瘡（床ずれ）」ができることがあります。化膿して、深い大きな潰瘍になります。

認知症の進行を抑えたり、症状を緩和する薬や、専門的な知識を持ったスタッフによる心身のケアによって、穏やかな終末期を過ごせるようにサポートします。

精神科領域

認知症

認知症の症状が進むと、日常生活の中で恐怖心が強くなり、物とられ妄想や徘徊、暴言、暴行といった症状が現れます。

内科領域

ターミナル ケア

れば、食事や睡眠が比較的楽になり、心理的な苦痛も和らぎます。

治療の可能性がない末期患者の激しい痛みに対しては、鎮静剤・麻薬を適切に使います。痛みがコントロールできれば、食事や睡眠が比較的楽になり、心理的な苦痛も和らぎます。

胃瘻は、誤嚥性肺炎を予防するために、手術でお腹に小さな穴を開けてチューブを胃に固定し、栄養液を流し入れる方法で、体力を自然に回復させることができます。

内科領域

いろいろ 胃瘻

高齢になり食事でもせることが増えると、間違つて気管に入った飲食物が原因で誤嚥性肺炎を起こすことがあります。



平岸病院、北の峰病院
は精神科の専門病院ですが、療養ベッドを数多く持ち、総合診療医が各診療科を超えて高齢の患者さんをケアしています。



砂川市立病院

診療科／内科、精神科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、
脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
麻酔科、救急科、放射線科治療科、放射線科診断科、病理診断科、リハビリテーション科
病床数／521床

診療時間／午前 8:30～午後 0:30
午後 1:30～午後 5:00

※各科、曜日により異なるためお問い合わせください

休診日／土日祝・年末年始

〒073-0196

砂川市西4条北3丁目1-1

電話 0125-54-2131 (代表)

<http://www.med.sunagawa.hokkaido.jp/>



旧病院北側に建設された新本館は、RC造7階建て



小熊 豊 院長

「地域完結型医療の拠点としての役割を果たしていきたいと思っています」

砂川市立病院の1階待合ロビーは、広く開放的です。各外来は1階と2階に分かれますが、外来専用のエレベーターとエスカレーターがあり、迷わず移動できます。

また、1階に検査部門を集めているため、外来から近く便利です。3階の救命集中治療センターは24時間365日対応。1階の救命・救急部門と専用エレベーターで直結するなど、迅速に検査や治療が行えるよう、最短の動線でレイアウトされています。

地域完結型医療体制の新病院誕生

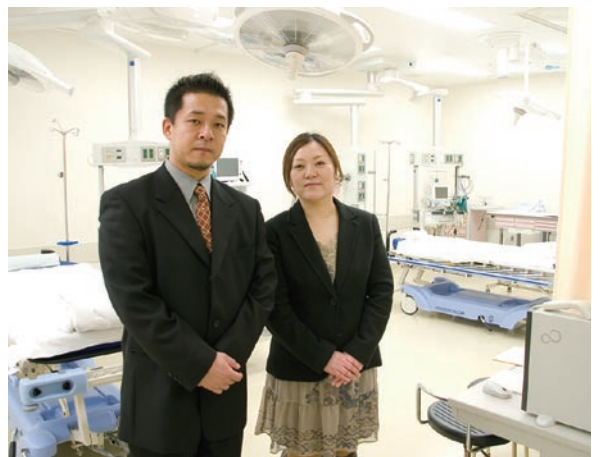
空知管内の拠点病院の一つである砂川市立病院が新築移転し、2010年10月にオープンしました。救命・救急、急性期医療、がん診療、周産期医療、災害医療などの高度専門的医療を充実させた同院を、平岸病院看護部の竹村恵一と立川真由美が訪問取材しました。

医療法人社団博友会では、砂川市立病院と機能分担しながら、積極的に連携・協力し、患者さんへより質の高い医療を提供していきます。

地域周産期母子医療センターには、リスクの高い分娩や未熟児治療のために美唄や滝川からも患者さんが来られます。

アメニティに配慮した病室は4床室と個室が基本。スタッフステーションは広く機能的です。職員専用エレベーターが設置されているので、搬入搬出業務も効率よくスムーズです。

アメニティに配慮した病室とスタッフステーション



救急処置室（3床）の最新設備を見学する平岸病院の竹村と立川



新本館には、22診療科の外来と病棟、各種検査室、救急部門、手術室などが配置されています。がん治療で活躍しているリニアックやPET-CTなどの新しい医療機器も導入されています。屋上には、ドクターヘリを受け入れるヘリポートも備えています。



アメニティが充実している個室



救急用バックボード



1階待合ロビー



使いやすい病室テレビ



救急車輛専用駐車スペース



2階リハビリテーション部門



博友会物語⑦

医療法人社団博友会 理事長 谷 博



温まる話しストーブと浴室

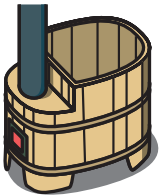
患者さんが交代でストーブ当番

昭和37年。31歳の私が着任したところの平岸病院では、冬に「ルンペンストーブ」を使っていました。

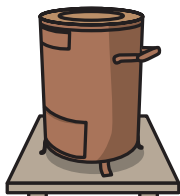
石炭を燃料とする円筒形のストーブで、2台1組で交互に使うものです。

一方が使われないことから、当時社会問題になっていたルンペン（失業者）と名づけられたよつです。

患者さんが当番で、石炭を詰め、焚きつけ（着火剤にした細い薪）を入れて火をつけ、燃え終わるとストーブごと交換しました。ルンペンストーブはスチーム暖房になる昭和43年まで活躍しました。



鉄砲風呂



ルンペンストーブ



昭和39年に完成した浴室

鉄砲風呂からタイル浴室へ

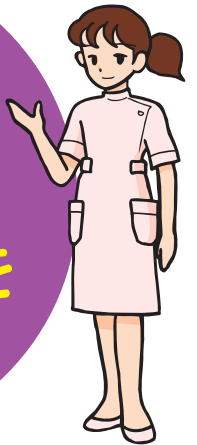
病院のお風呂は、1人用の鉄砲風呂でした。木桶に煙突と釜が付いた構造で、バケツで水を入れ、薪を焚いて沸かすことから、入浴は大仕事でした。

念願のタイル張りの浴室は、上水道が引かれた昭和39年に完成しました。4、5人が一度に入ることができ、まるで銭湯のようでした。札幌のデパートで私が購入した「ライオンの吐水口」を取り付け、そこからお湯が出るのを見たときは、まるで夢を見ているような気分。患者さんと一緒に浴槽に飛び込み、子どものようにしゃべりました。

病院の劣悪な環境は、昭和42年に浄化槽と水洗トイレが設置されるまで続きましたが、職員と患者さんが共に逆境を乗り越えた体験は、懐かしく楽しい思い出です。

【次号に続く】

医療従事者を
目指す皆さんへ
**奨学資金
支援制度を
ご利用ください**



医療法人社団博友会では、将来、当法人で医療従事者として活躍する人材の育成を図るため、奨学資金支援制度を設けています。

学業成績が優秀で、心身ともに健康でありながら、経済的理由で、医療関係学校への修学が困難な場合は、奨学資金支援制度をご利用ください。

資格取得後は、奨学資金受給期間と同じ期間、当法人の医療施設に就労することが定められます（2年間受給した場合は2年間の就労）。その場合、奨学金の返還は免除になります。

これまでの実績

（昭和45年ころ制度開始）

資格取得 延人数	職種	就学先	現在までの 支援資金総額	平成22年の 就学者数
180人	看護師、准看護師、 臨床検査技師、作業 療法士など	旭川市医師会看護専門 学校、その他札幌・ 旭川・小樽・帯広・伊 達・美唄・稚内など各 地の医療関係学校	約1億円	38人

この制度により、多くの資格取得者が誕生し、当法人で医療に従事しています。また、当法人を退職後、新たな職場で活躍する人も数多くいます。

お問い合わせ

法人事務局

☎ 0125 (38) 8331